

G20大阪サミット参加国代表の広島訪問に関する要望

平素から、広島県の発展につきまして格別の御支援と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、人類史上初の原子爆弾によって、未曾有の惨禍を体験した広島にとりまして、核兵器のない平和な国際社会の実現は、重要な使命であると認識しております。

また、広島は、原子爆弾による破壊を経験し、その廃墟の中から、目覚ましい復興を遂げた地として、平和こそが成長と繁栄、そして幸福をもたらすことを世界に証明している「希望の象徴」でもあります。

このため、核廃絶に向けて、その非人道性について、各国の政治リーダーに深く認識をしていただくことが重要であり、世界の政治リーダーが広島・長崎を訪れ、被爆の実相について理解を深め、核兵器の廃絶に向けた決意を固めていただければ、世界中の人々に、「核兵器のない世界」の実現への希望を与えることにつながると考えております。

これまで、貴職のお力添えにより、G7広島外相会合の開催、これに続くオバマ大統領の歴史的な広島訪問により、核廃絶の機運は高まりを見せましたが、今日、核廃絶へのアプローチを巡って、核兵器国と非核兵器国との間の溝が一段と深まっており、加えて、米国のINF条約の破棄表明は、核軍縮に逆行するものであり、このままでは、核軍拡の歯止めが効かなくなる恐れがあると強く感じております。

つきましては、G20大阪サミット及び外相会合で来日される、核兵器国を含む各国の政治リーダーに、是非とも、広島にお越しいただき、直接、被爆の実相に触れ、一日も早い核兵器のない平和な世界の実現を願う広島の思いを受け止めていただきたいと考えており、貴職の格段の御配慮をお願い申し上げます。

平成31年1月23日

広島県知事